

防除所レポート

フェロモントラップへのトマトキバガの誘殺数が多い状況です。

トマト圃場等への飛び込みや発生に注意しましょう。

県内4地点に設置しているフェロモントラップにおいて、トマトキバガ雄成虫の誘殺数が9月第3半旬以降、増加傾向で推移しました。10月第5半旬は減少したものの、今後の動向に注意が必要です(図)。

現在のところ、本県での農作物での発生および被害は認められていませんが、圃場をよく観察し、本虫の発生に注意してください。トマトキバガの発生や被害が疑われた場合は、最寄りの農業改良普及センターまたは病虫害防除所に連絡してください。

なお、前年は11月末まで誘殺が確認され、他県では、冬期間でも施設内での発生が継続的に確認されていますので、今後も施設内への飛び込みや発生に注意しましょう。

(令和7年10月22日発表 病虫害速報No.6 参照)

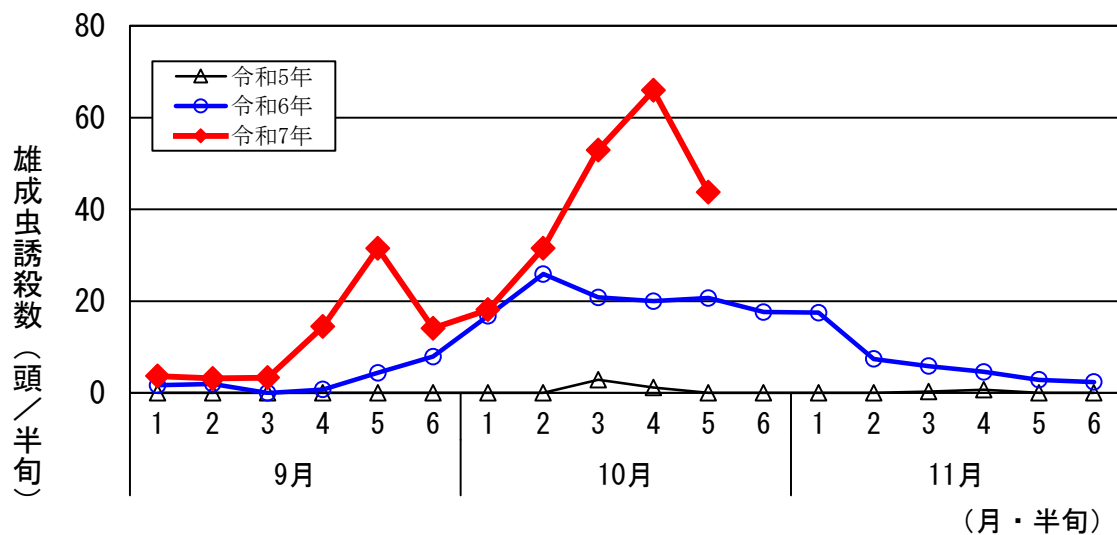


図 フェロモントラップへのトマトキバガ雄成虫の誘殺状況(県内4地点合計)